

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

目次

1. 現行計画の概要

(1) 森林計画区の概要

(2) 国有林野の管理経営に関する基本的事項

(3) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 多様な森林づくりの推進

② 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

③ 保護林の適切な保全・管理

④ 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

(4) 林産物の供給に関する事項

① 低コスト林業の実現と木材の安定供給

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

(5) 国有林野の活用に関する事項

① レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

② 国民参加の森づくりの推進

2. 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

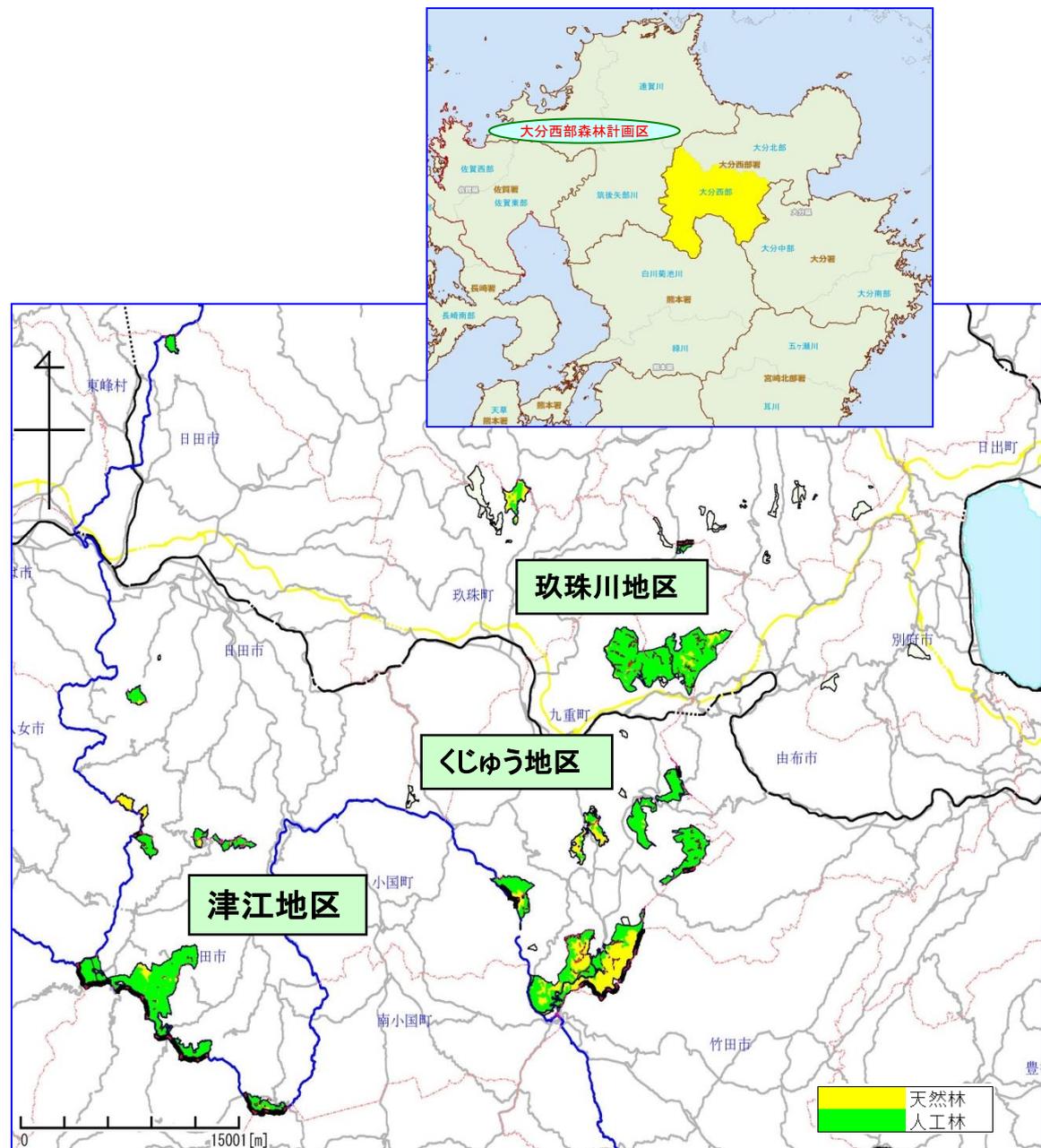
(2) 計画内容

大分西部森林管理署

1. 現行計画の概要(平成25年4月1日～30年3月31日)

(1) 森林計画区の概要

- ・大分西部森林計画区は、大分県西部の筑後川源流部に位置し、玖珠川地区、くじゅう地区、津江地区からなる国有林野7,829haです。
- ・国有林野面積は、計画区内の全森林面積の8%にあたり、人工林が57%を占めています。
- ・国有林野の94%は水源かん養保安林に指定し、日田玖珠地域の他、筑後平野及び福岡都市圏の水がめとして重要な役割を担っています。
- ・くじゅう連山一帯の国有林野は登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



(2) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

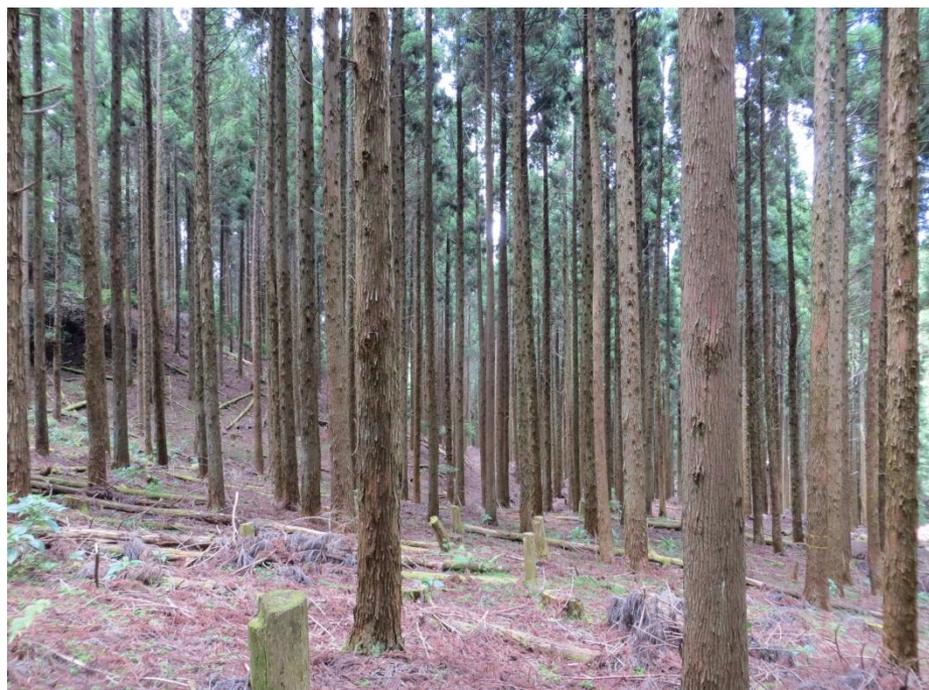
国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (936ha)	山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とすべき森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持
自然維持タイプ (542ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とすべき森林	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持
森林空間利用タイプ (1, 751ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とすべき森林	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成
快適環境形成タイプ (0)	快適な環境の形成機能の発揮を第一とすべき森林	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持
水源涵養タイプ (4, 600ha)	水源涵養の機能の発揮を第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

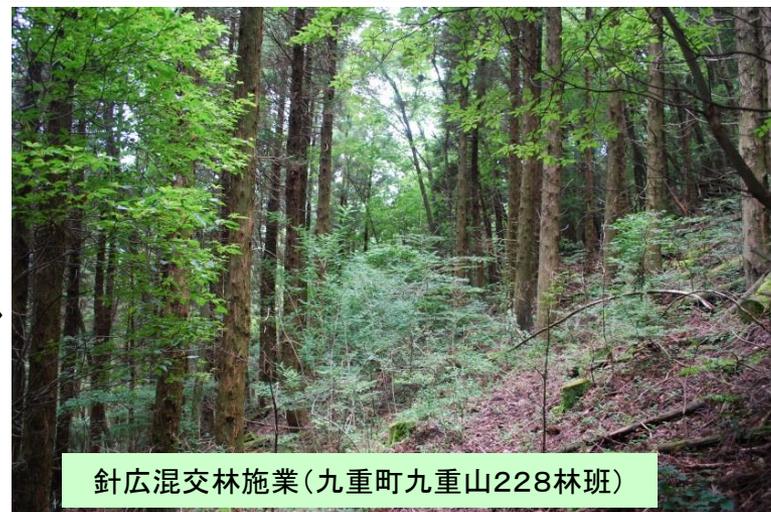
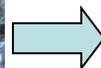
(3) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 多様な森林づくりの推進

本計画区は、筑後川の源流部に位置し公益的機能の高度発揮が常に求められることから、積極的かつ着実に森林整備に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期施業等に取り組んでいます。



スギ人工林(玖珠町平家山211林班)



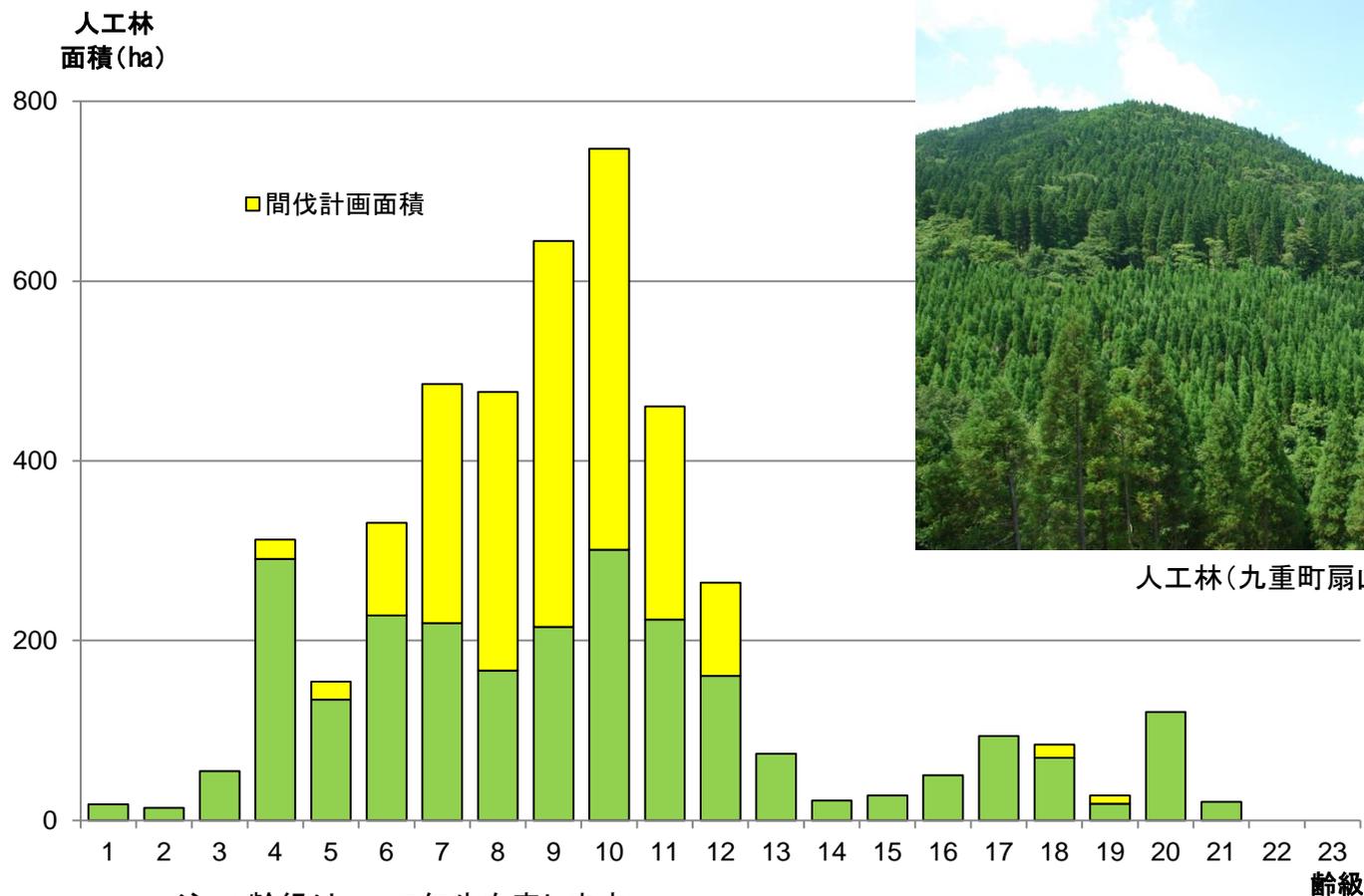
針広混交林施業(九重町九重山228林班)



複層林施業(誘導伐)(九重町寺床218林班)

② 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

本計画区の人造林の面積は約4,486haで、間伐対象となる16年生から60年生の人造林の面積は約3,880ha（人造林面積の86%）であり、地球温暖化防止対策として積極的な間伐（計画面積約1,960ha）に取り組んでいます。



人造林(九重町扇山1056林班)

③ 保護林の適切な保全・管理

本計画区の貴重な自然環境を有する天然林等について、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
林木遺伝資源保存林	権現岳 (御前岳)	シオジ、ケヤキ、ブナ等の天然林を保護し学術研究等に資する。	70
	兵戸山 (酒香童子山)	モミ、アカシデ、ミズナラ等の天然林を保護し、学術研究等に資する。	8



④ 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

山地に起因する災害から国民の生命・財産を守るため、計画的な治山事業の実施に取り組んでいます。



九重町「九酔溪地区」で発生した山地災害箇所では、高所機械掘削工法等により早期復旧工事を実施しました。



九重町「長者原温泉地区」を山地災害から守る九重山(白水川)治山ダム群。

(4) 林産物の供給に関する事項

①低コスト林業の実現と木材の安定供給

伐採、造林等の作業の効率化を図りつつ、健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握し、国有林材の安定的な供給を推進しています。



林業経営の低コスト化に向け、コンテナ苗を用いて再造林を同時に行うなど一貫作業システムの試行を行い、民有林における普及・定着に資するよう取り組んでいます。



間伐材の利用促進にあたり、列状間伐や路網と高性能機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムの定着を図りつつ、また、これまで利用が低位であった曲がり材等を合板や集成材等の原料として、未利用間伐材等は木質バイオマス利用の拡大に向け、それぞれ需要者と協定を締結する「システム販売」にも取り組んでいます。

②森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地検討会を実施しています。



H27.10.21 路網現地検討会(玖珠町 森平家山211林班)

国有林内において、林業事業者、大分県職員等も参加して、新設路網の設計と高性能林業機械を使用した作設実習を行い、民有林への技術普及に向けて取り組んでいます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。

H25.9.17 協同施業団地運営会議(大分西部森林管理署)



民有林と国有林が隣接する津江地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化に取り組んでいます。

(5) 国有林野の活用に関する事項

①レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、多くの方々に親しまれています。

種類	名称	概要	面積(ha)
風景林	鳴子沢 (九酔溪)	老齢の針広混交天然林の新緑と紅葉、さらには鳴子川の渓谷美、なかでも震動の滝の望見は素晴らしく風致観賞の散策者等に親しまれています。	191
風致探勝林	九重 (くじゅう)	阿蘇くじゅう国立公園の要所となっており、山麓から星生山、三俣山等の頂上にかけては、ミヤマキリシマ等の高山植物群生地があり、その景観は四季それぞれの変化に富み、また雄大な眺望もできることから多くの観光客や登山者等に親しまれています。	47



九重“夢”大吊橋と鳴子沢風景林



黒岩山から望む九重風致探勝林

② 国民参加の森林づくりの推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

木の文化を支える森づくり活動を推進します。
「木うその森」



H26.3.27 協定更新(太宰府市役所)

太宰府木うそ保存会、太宰府市、太宰府市商工会と協定を締結し、太宰府天満宮の伝統行事である「鶯替え」で使用されるコシアブラの育成に向け刈り出しや除伐作業、原木採取に取り組んでいます。

民有林と協調した水源の森林づくりや山村と都市部の交流の場を提供します。

「ひかりと風の森」

森林教室(日田市
柿ノ谷2062林班)



木うそ



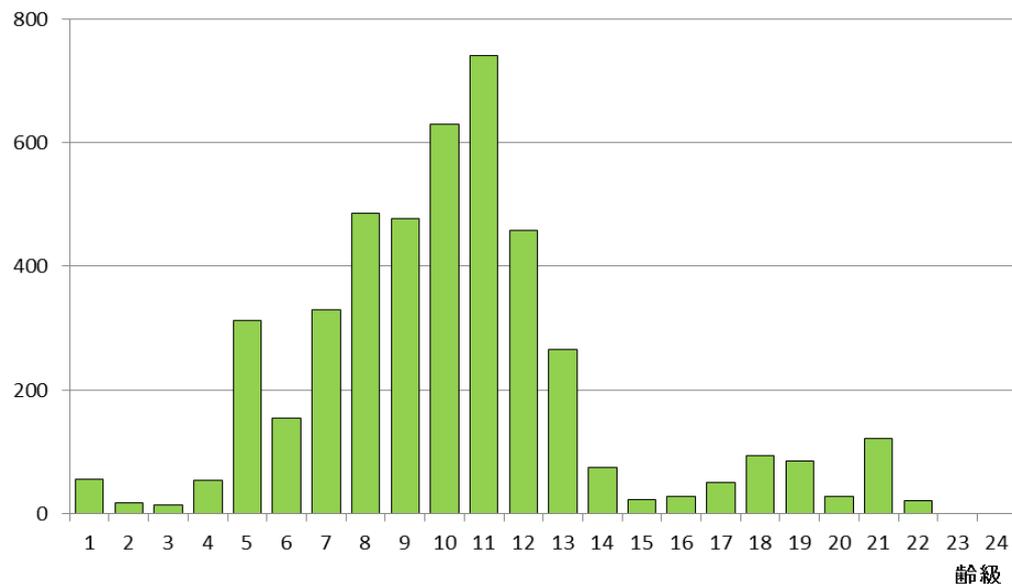
筑後川源流域にある日田市有林と隣接する国有林は、一体となって水源かん養の森林を育成するとともに、ボランティア等による森林整備活動や森林・林業体験活動のためのフィールドとして提供しています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めしていく必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる人工林の割合は現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。

人工林面積 (ha)



・野生鳥獣による森林被害は、シカによる被害を中心に深刻化しており、野生鳥獣との共存に配慮しつつ対策を適切に推進していく必要があります。

・本計画区には保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。

- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・本計画区には森林共同施業団地を設定しており、農林水産業・地域の活力創造プランの実現に向けて民有林と国有林が連携し、効果的な路網の整備や森林整備を推進する必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用されてこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



日田市天瀬町 (株)グリーン発電大分・日本フォレスト(株)

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・野生鳥獣による森林被害について、地域と連携した防除活動を推進するとともに、野生鳥獣の生息環境となる針広混交林等へ誘導するなど、野生鳥獣との共存に配慮した対策を推進する方向です。
- ・貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・森林の持つ多面的機能の維持向上に向け、森林共同施業団地内において民有林と国有林が連携・協力して路網の整備や森林整備を推進する方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。